

## 令和5年度の実施状況分析

応募倍率が**低**く、就職率が**高**い分野  
**「介護・医療・福祉分野」**

【委託訓練】令和5年度の応募倍率は69.0%、就職率は80.9%。

【求職者支援訓練】令和5年度の応募倍率は70.4%、就職率は77.3%。

応募倍率が**高**く、就職率が**低**い分野  
**「IT分野」「デザイン分野」**

【委託訓練】令和5年度の就職率はIT分野で50.9%、デザイン分野で53.8%。応募倍率は両分野とも100%前後と高倍率。

【求職者支援訓練】令和5年度の就職率はIT分野59.8%、デザイン分野で53.0%。応募倍率はIT分野で99.6%、デザイン分野で139.9%と高倍率。

A この分野の応募倍率は両訓練とも70%前後であり、改善の余地があることから、引き続き、訓練コースの内容や効果を踏まえた**コースPRと受講勧奨の強化**が必要。

B 令和6年度に引き続き、**求人ニーズに即した効果的な訓練内容であるかどうかの検討**を行う。

C 就職率向上のため、**受講希望者の特性や状態に沿った適切な訓練を勧奨**できるよう、ハローワーク訓練窓口職員の知識の向上や、**事前説明会・見学会の機会確保**を図るとともに、訓練修了者の就職機会の拡大に資するよう**訓練修了生歓迎求人等の確保**を推進する。

## 人材ニーズを踏まえた設定

デジタル推進人材の育成に向け、人材ニーズを踏まえた効果的な訓練内容の質的拡充が課題。

D デジタル分野以外の職業訓練コースにおいて、訓練分野の特性を踏まえて、DXリテラシーを身につけることができるよう、訓練の質的拡充を図る。